

石仏と料理に感動して

H さん

「今度の休み、また九州へ行こ。」いつもの旅好きの主人の誘い。私も旅好きなのでたいていの誘いには乗ってしまいます。「どこ行くの?」「昔行った石仏で有名な臼杵や。ふぐが名物らしいで。」そういえば子供達がまだ小さかった頃、連れていった覚えがあります。しかし、ゆっくりと石仏を鑑賞した覚えはありません。今回はゆっくり見られそうです。九州へはよくフェリーを利用します。関西から便のある4社の船はすべて乗船しています。船旅の良さは、ゆっくり、のんびりできることです。また、夜乗船して、翌朝には上陸でき、時間を有効に使える点にもあります。雑魚寝も平気な私たち夫婦は、たいてい最も料金の低い2等で



の船旅をします。航路によって客層が変わるのか、さまざまな雰囲気が味わえます。金曜の夕方、勤務が引けてから南港へ向かいます。近くの駐車場に車を預けて、フェリー乗り場へ急ぎます。車無しなので手続きも早く、出港40分前には乗船できました。まずはお風呂でさっぱりした後は、少し高いけど船内レストランでしっかり夕食を頂きます。船室に戻ったら1日の疲れで朝までぐっすり。翌朝、別府からは予約したレンタカーで集合場所の臼杵駅へ直行します。駅からは親切なタクシー運転手さんの案内で臼杵石仏へ移動します。若い女性のボランティアガイドについて多くの石仏を巡ります。これらの石仏は気の遠くなるような年月をかけて彫られたものということでした。山を下りた後は臼杵名物のせんべい作り体験、せんべいの両面に刷毛で加熱してとかした砂糖を塗ります。薄く塗らないと特徴のすじが出ません。この臼杵せんべいは1枚1枚手塗りの手間暇をかけた一品です。石仏を後にしてお待ちかねのふぐ料理の昼食に福わ内さんへ向かいます。料理は、ふぐ刺身、ふぐちり鍋、皮の肝和え、唐揚げ、寿司、雑炊、イチゴのデザート、そして地元ではレースケと呼ばれるク

場へ急ぎます。車無しなので手続きも早く、出港40分前には乗船できました。まずはお風呂でさっぱりした後は、少し高いけど船内レストランでしっかり夕食を頂きます。船室に戻ったら1日の疲れで朝までぐっすり。翌朝、別府からは予約したレンタカーで集合場所の臼杵駅へ直行します。駅からは親切なタクシー運転手さんの案内で臼杵石仏へ移動します。若い女性のボランティアガ



ロアナゴの湯引きを酢味噌で頂きました。これがまた美味しいものでした。昼食後は、交流プラザまで送ってもらい、自由散策で二王座の情緒ある坂道、八町大路の商店街、稲葉家下屋敷、臼杵城跡などを巡ります。商店街では味噌こうじのソフトクリームを食べたり、84歳のおじさんのデザインの素敵なお木綿のチュニック？のような服を買ったり、いろいろと楽しみました。また、町ですれ違う子供や町の人々はみんな丁寧な挨拶をしてくれて、感じがよかったです。臼杵駅まで戻り、レンタカーで別府へ戻り、竹瓦温泉に浸かり、温泉の街別府を楽しみました。フェリーの出港時のテープ投げにも参加して、別府港での別れを惜しみつつ一路大阪へ向かいます。朝早く帰阪できたのでその後の1日も有効に使用して、とっても得をしたと思える旅行でした。次の旅行もやっぱり船旅かなと思える臼杵への旅でした。お世話になった臼杵のみなさん、フェリー、さんふらわあトラベルのみなさん、ありがとうございました。

